

新庁舎建設等特別委員会

- ・新庁舎建設事業が完了し、経費の支払いが完了するため、庁舎建設資金積立基金を廃止する条例について審査しました。
 - ・新庁舎建設事業の総括（完成した庁舎の仕様、事業収支など）について
- などの報告を受けました。

【議案の審査】

■議案第11号 国分寺市庁舎建設資金積立基金条例を廃止する条例について

問 廃止せずに基金を残すこともできる中で、廃止するという考えに至ったのはなぜか？

答 庁舎の建設が終わり、供用が開始されたことをもって、新庁舎建設事業は完了した。今後は学校やその他の公共施設のマネジメントに莫大な費用がかかることが見込まれるため、限られた財源を適切に振り分け、喫緊の課題に対応するための基金をしっかりと積み上げることが必要であると考えた。

問 庁舎の修繕費用の積立は行わないのか？

答 修繕費用は公共施設整備基金で対応するため、適切に積み増しをしていきたい。

【報告事項】

■国分寺市新庁舎建設事業総括について

問 新庁舎はDX推進やエネルギー対策の面で先進的な自治体モデルであるが、他自治体からの視察等の申込状況について教えてほしい。

答 環境省が主催する、環境に配慮した公共建築物に関するセミナーの事例に選ばれるなど、注目度は高い。他自治体からの視察の申し込みも多く、今後順次対応していく予定。



1階エントランス

補正予算審査特別委員会

一般会計予算を増額する議案を審査しました。

【議案の審査】

■議案第6号 専決処分について

問 専決処分により実施している住民税非課税世帯給付金等事業について、支援を必要とする世帯に申請していただきたいが、はがきで市から通知を行う場合、そのはがきが返送されたときはどう対応するのか？

答 一定の調査と勧奨通知を行うが、さらに工夫を考えたい。

■議案第7号 国分寺市一般会計補正予算（第11号）

問 定額減税補足給付金約1億1千万円補正減の理由は？

答 当初対象人数を国の算定式により算出したが、後日算定ツールにより改めて算出した結果、対象者数に差が生じたため補正減を行うものである。

問 障害児支援事業の在宅レスパイト・就労等支援業務委託料を補正減する理由は？

答 本事業は新規事業であり、当初の見込みより利用が慎重であったため補正減を行う。今後も本事業の周知に努めたい。

問 家庭用防災用品購入費補助金の補正に関し、本制度をどれだけの世帯が利用したのか？

答 令和5年度と6年度の2か年実施し、6,428世帯、市内6分の1程度の世帯が本制度を利用し家庭用防災用品の購入を行っていた。

■ほか2件の議案を審査



防災用品

予算特別委員会

令和7年度予算に必要な行政サービスが計画されているか確認するとともに、将来の健全財政を維持し、効率的・効果的な市政運営に資するものであるか評価し、予算議案を審査しました。

【特別委員会の設置】

令和7年度の一般会計及び4特別会計の予算議案の審査は、予算特別委員会（丸山哲平委員長、星いつろう副委員長。議長以外の21人で構成）を設置し、3月7日から17日までの7日間審査を行った。

【議案の審査】

■議案第1号 令和7年度国分寺市一般会計予算

【財政フレーム等の質疑】

問 令和12年度までの財政フレームでは、8年度以降歳出超過による財源不足を見込んでいる。今後の生産年齢人口の減傾向を踏まえ、これまでの収支均衡予算の維持が難しい状況が見込まれるがいかがか？

答 人口増加傾向は推計より継続し、税収の伸びが見込まれる一方で歳出の増見込みにより財源不足が見込まれるため、業務改革、効率化を図り、収支均衡を維持する行財政運営を考えていく必要がある。

問 公共施設整備基金は不測の事態に備えて残高20億円を維持していく考えが示されているが、旧庁舎用地利活用事業で18億円活用する予定もある。維持目標の公共施設整備基金残高の額を引き上げてはどうか？

答 この間建設費が上昇している状況を加味していく必要性は認識しているが、財政調整基金との見合いを踏まえ、今後の基金の見直しを検討していきたい。

【歳入の主な質疑】

問 ストックヤードの閉鎖に伴いリサイクル家具等売払収入が減額となっているが、今後の家具等再利用はどうか？

答 （仮称）リサイクルセンターが開設されるまでの間、リサイクル家具販売は一時中止する。その間は、粗大ごみとなる前段で再利用のマッチングをするようなサービスを検討したい。

【人件費の主な質疑】

問 今議会に職員定数を20人増やす議案が提出されている。令和7年度の採用試験で20人プラスして採用するというのか？

答 今回の定数増は育児休業等で職員が休業に入った段階から代替の職員を配置できるようにするものであり、採用人数と今回の定数増は一致するものではない。

【歳出の主な質疑】

問 休日の中学校部活動が令和7年度より一部の種目において地域団体に委託される。どの種目を委託し、コーディネーターは何名予定されているのか？また各種大会へ出場できるのか？地域移行に当たっては、しっかり理解を得るとともに、部費が払えず部活をあきらめる生徒がでないよう願う。

答 野球と吹奏楽・合唱を委託し、部活動コーディネーターはスポーツの団体、文化芸術活動の団体等から7名を予定している。大会への出場に関しては中体連の大会に地域移行団体が登録し出場している実績がある。

問 重層的支援体制整備事業の一つである福祉の総合相談窓口「丸っとふくまど」に関し、来年度の展開は？

答 現在週1回の市役所窓口と空き家等を使った出張窓口がある。今後はさらに市内の様々な相談支援機関とも連携する方向で進めていきたい。

問 障害者等の移動支援事業に関し、通学・通所での利用状況を踏まえ、時間数の考えは？

答 本事業は余暇活動支援を目的に開始したもので、通学・通所の時間数に関しては、他の手段の状況と合わせて考えたい。

問 4月から東部、西部地区に加え、中部地区に新たに開設される拠点親子ひろばの準備状況は？

答 令和7年4月にいずみプラザ内に中部地区拠点親子ひろば「いずみひろば」を開設する。現在、年間の講座、イベント等の計画調整を進めている。

問 新しく始まる未就園児の定期的な預かり事業の内容は？

答 保育所、幼稚園を利用していないゼロから2歳児を対象として、週1、2回定期的に通っていただき、お子さんの様々な発達を促すなど育ちの支援を行う事業である。

問 貯めたポイントで電子マネー等の特典を獲得できる健康ポイントアプリ導入事業は市民の健康行動を促すことに寄与する。より多くの市民に登録いただくよう周知いただきたい。

答 チラシ、ポスターに加えて市報、ホームページ等様々なツールで周知するとともに、若い年代から高齢者まで幅広く市民に対して全庁連携して周知を図ってきたい。



丸っとふくまどキャラクター「つみとり」

問 地域バス運賃が4月1日から100円から200円に改定される。市民の理解が進むよう丁寧に説明すべきであるがいかがか？

答 市報、ホームページ等可能な方法を用いて周知を図りたい。

問 平成31年作成のハザードマップが更新される。作成部数、配布先は？今後、国分寺市防災アプリとの連動を検討願う。

答 ハザードマップは10万部作成し、全戸配布を行う。その後転入者へ配付を行う。

■議案第2号 令和7年度国分寺市国民健康保険特別会計予算

問 医療費適正化支援事業委託料が令和6年度と比較して減額となった理由は？

答 これまで単年度で契約を行っていたものを、債務負担行為で複数年度の契約に変更したことにより、令和6年度と比較して5年間で約2,600万円削減することができたものである。

■議案第3号 令和7年度国分寺市介護保険特別会計予算

問 訪問介護事業所を支える新たな取組として、人材確保に係る費用や電動アシスト自転車等購入の移動支援補助を東京都が予定している。事業所がこの補助を活用できるよう周知願う。

答 的確に東京都の制度の情報を収集・把握し、補助を活用できるよう展開していきたい。

■そのほか議案第4号 令和7年度国分寺市後期高齢者医療特別会計予算、議案第5号 令和7年度国分寺市下水道事業会計予算を審査